

様式1 平成30年度 山梨県立甲府城西高等学校学校評価報告書

学校目標・経営方針 自己の課題に積極的に取り組み、創造する力と豊かな個性を身につけ、社会に貢献する生徒を育成する。

山梨県立甲府城西高等学校校長 永田 典弘

本年度の重点目標	1 積極的に学ぶ生徒を育てる。	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 規範意識の向上を図り、社会性を育む。	B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 心身を鍛え、豊かな人間性を育む。	C 不十分である。(4割以上)
	4 社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる。	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価						
番号	評価項目	本年度の重点目標	年度末評価(2月18日現在)			
				具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果
1	積極的に学ぶ生徒を育成する	①自ら学び、考える力を育成するため、学習指導の工夫・改善に努める。	理解度に応じた指導の充実、相互授業参観の活性化	「理解度に応じた指導の充実」 一評価A49%、評価B44% 「指導の工夫・改善」 一評価A31%、評価B52%	B	学力に応じた授業や系列の特色を生かした授業など、総合学科である本校の教育活動が評価された。今後も授業力向上を目指し、引き続き取り組んでいく。
		②基礎的・基本的な学力を身につけさせ、進路実現に結びつける。	実力診断テストの活用、課外の充実、ICTを活用した学習習慣の確立	「課外や小論文・面接等の個別指導の充実」 一評価A44%、評価B45%		
		③授業をととして4つの力(理解する力、収集する力、まとめる力、伝える力)を育む。	各教科の授業改善による4つの力の向上	「授業を通じた4つの力の育成」 一評価A31%、評価B51%		
		④体験的な学習の重視と資格取得を奨励することで、専門的な知識・技能の修得を目指す。	産社・総学等における体験的学習の充実、系列科目の積み上げによる資格取得の推進	「体験的学習の充実」 一評価A39%、評価B50%		
2	規範意識の向上を図り、社会性を育む	①基本的な生活習慣を確立させる。	遅刻指導、あいさつ運動の充実	「あいさつ習慣の確立」 一評価A49%、評価B46% 「時間を守る指導の充実」 一評価A55%、評価B38%	A	挨拶をする習慣は例年高い評価なので、「大きな声で挨拶している」質問に変えたところ、評価が下がった。日々挨拶を励行する。
		②集団生活のルールやマナーを身につけさせる。	服装頭髪指導の徹底、自転車やバイクなどの交通マナー指導の充実	「いじめの未然防止といじめを許さない態度の徹底」 一評価A42%、評価B44% 「集団生活のルールやマナーの指導」 一評価A50%、評価B42%		
3	心身を鍛え、豊かな人間性を育む	①自己を正しく理解し、在り方・生き方について考えさせる取り組みを実践する。	自己理解、生き方・在り方を考える機会の充実	「外部講師の講話や講義による効果」 一評価A35%、評価B49%	B	様々な分野の外部講師による講話で、生き方・在り方を考えさせるきっかけとすることができた。継続して充実させる。
		②健康と安全に対する意識を深める取り組みを実践する。	保健講話、生指講話、防災訓練の充実	「保健だよりや健康相談の充実」 一評価A38%、評価B45% 「災害時の行動等の指導の充実」 一評価A39%、評価B49%		
		③部活動を活発にして、豊かな人間性を育む。	部活動における技術技能の向上、人間性の育成	「部活動の充実」 一評価A44%、評価B42%		
4	社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる	①キャリア教育の充実を図り、個々の進路にむけての意識づけを行う。	進路意識を高める取組の充実	「進路意識を高めるための総学やLHR、インターンシップの充実」 一評価A42%、評価B47%	B	系列授業やインターンシップ、総学、LHRなどの取組により、進路を実現させた。今後もキャリア教育の充実を図る。
		②我が国の文化や伝統に触れ、大切にすることを意識向上させる機会を設定する。	産社・総学等における年間計画への位置づけ	「産社・総学等における日本の文化や伝統に触れる機会の設定」 一評価A41%、評価B43%		
		③地域社会及び世界の諸問題に目を向けさせる取り組みを実践する。	地域の諸行事への参加	「地域交流への取組」 一評価A35%、評価B48%		

学校関係者評価	
実施日(平成31年3月8日)	
評価	意見・要望等
3	○ 日本新聞協会事業の家族や友人と新聞を読み話してまとめた感想文が対象の「いっしょに読もう! 新聞コンクール」で甲府城西高校と生徒一人が奨励賞に選ばれた。甲府城西高校では1年生を対象にNIE(教育に新聞を)の授業を取り入れており、活字離れが進む現代において効果的な取り組みと思う。
	○ 主体性を持って身に付けた知識や技能が自信となり、より高い意識で社会生活が送れると思う。引き続き、取り組んで頂きたいと思う。
	○ 「先生方は授業内容を工夫されたわかりやすい方法で教えている」、「進路実現のための課外や小論文・面接が適切」、「4つの力を伸ばす指導」の否定回答率「達成できなかった」の割合が増加していることが気になった。なぜそのように回答したのかを説明する機会があるとはいいないか。すべての回答について説明が追加されるとよいと思われる。数値だけでは読み取れないこともある。生徒に丁寧に向き合うところが貴校の特長である。説明の機会を設けることは、本項目に限らず、「学校改善・点検シート」全体についての意見である。少なくとも学校評価(方策と重点目標)に直接関係する(それらの指標とすると)設問については、説明を求めてもよいのではないかと感じる。
	○ 生徒に主体性を求める方策は評価されることだと思う。自らすすんで学ぶ姿勢を育てることで、自分にあった学習方法を見つけられるようになると思う。また、授業毎に目標を設定するのは先生と生徒とのことだが、生徒自らハードルの高さを設定させることも、主体性を育むのではないかと感じる。
4	○ 住まいが学校近くの下飯田2丁目であるが、数人の生徒が定期的に荒川沿いの遊歩道のゴミ拾いをしており感謝している。挨拶もきちんと出来ており、自転車などの交通マナーも概ね良好である。
	○ 「登下校時の挨拶を、先生方も生徒も大きな声でしている」の「できなかった」が増加し、逆に「できた」が減少した。「先生方も生徒も…」は、あいさつの主体が特定できないのではないかと、「先生方は」と「あなた自身は」に分けることで見えてくる実情もあるかもしれない。「先生方はいじめの未然防止に努め、いじめを許さないで」あまりできなかったと「できなかった」が12%程度いる。貴校ではいじめの小さな芽にも慎重に対応しているにもかかわらず、生徒がなぜのように受け止めたのか、やはり説明を聞きたいところである。
4	○ 挨拶運動は高く評価できる。だが、遅刻の増加と交通違反などの増加は、生徒自身の意識を高めないで減少しないと思う。もう一歩、生徒と先生が一体となって社会規範について考えて伝えることができると思う。
	○ 甲府城西高校体育館が地元4自治会の避難場所となっており学校関係者の協力、生徒さんの参加もいただいている。自然災害が多発する現状に鑑み学校と協調してより実践的な避難訓練へと充実させたい。
3	○ 豊かな人間性を育む事で、他人を理解し、いじめ妬み等が減少すると思う。健全な心を育てる教育の充実を望む。
	○ 「保健だよりや健康相談の充実」は、「できた」とできなかったがともに増加し、二極化している。ケアを受けていると感じる生徒が増えるのはよいことだが、そうでない生徒も増えている。具体的に対応するためには、回答における具体的な説明が必要となるのではないかと。
	○ 「部活動が活発で技術や人間性の向上に努力」については、「できた」の大幅減少「やや」「あまり」「できなかった」の大幅増が気になった。豊かな人間性は、部活動によらずとも育むことができる。部活動が活発すればするほど、なじみない生徒も増えるのかもしれない。
3	○ 防災についての委員会の新たな設立を評価させていただきます。いつ何が起こるかわからない昨今、自己の生き方を考えることで、周囲に流されることのない自己を確立し、自己が確立されたことで、周囲に配慮できる人間をつくることに繋がると思います。
	○ 平成31年2月13日、第3回総合学科発表会を拝観した。各年次1年間の歩みのほか、職業人インタビュー、インターンシップ、上級学校見学など卒業後を見据えた実践的な取り組みを見ることが出来た。
3	○ 自ら進んで取り組む意識が高まる事を期待している。
	○ 「学校は地域や他の団体と交流している」で「できなかった」が増えている。「地域社会及び世界の諸問題に目を向けさせる取り組み」は地域や他の団体との交流に限らず、授業を通して視界が開けてきているのではないかと想像する。また、授業を通して「地域社会及び世界の諸問題に目を向けさせる」ことは学校でこそできることである。指標の追加が必要かもしれない。
3	○ 進路意識を高める取り組みを評価させていただきます。ただ、進路選定だけでなく、自らの探究心を育むために、積極的に地域活動や山梨県の伝統に触れる活動を増やしていただきたい。

留意点 (1) 重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2) 学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。